

(様式 1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和 2 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	12	事業名	除染土壌等仮置場及び周辺環境放射線量常時監視事業	事業番号	(3)-22-1
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	(71,229) 87,290(千円)		全体事業費	(71,229) 87,290(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
除染によって発生する除去土壌等の仮置場は周辺住民の理解によって確保することができた。仮置場の設置にあたっては、放射線に対する不安から放射線量を常時観測するモニタリングポスト(以下「常時観測装置」という。)の設置を強く要望されそれぞれの仮置場に設置した。 設置した常時観測装置の管理を適切に行うことにより、周辺住民の理解と安心を深めるとともに、除染等の措置等の早期完了による地域の再生加速化を図る。					
事業概要					
設置した放射線常時観測装置の適正な管理運用(年1回の点検校正作業を含む) 【南相馬市復興総合計画 後期基本計画 政策の柱4 都市基盤・環境・防災】P62 基本施策11 生活環境 施策35 環境の保全 主な取組 環境放射線モニタリングの実施と情報発信の継続					
当面の事業概要					
<令和2年度> 内 容 ○モニタリングポスト点検校正及び運用管理 29台 ○モニタリングポスト撤去(令和3年3月仮置場返還予定) 12台(撤去箇所別添一覧表表示) ○モニタリングポスト設置場所 南相馬市内の仮置場(別添一覧表参照) <令和3年度以降> 継続しての実施予定					
地域の帰還環境整備との関係					
常時観測装置の点検校正による正確な測定により、住民の放射線に対する不安を軽減することによって、地域の再生加速化につなげる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	